

いにしへの行田の歴史を探る

いにしへの行田の人々の作った家、水路、墓、井戸などの痕跡（遺構）や、人々が使った土器、石器など（遺物）は、長い年月の間に、地盤沈下や洪水などの中で埋もれてしまっています。このような埋もれた人々の生活の痕跡を遺跡といえます。現在、行田市内には188カ所の遺跡が確認されています。

遺跡は、いにしへの歴史を伝える貴重な文化財で、本来は保存すべきものですが、土木工事などでどうしても遺跡を破壊しなければならぬ場合には、工事前

に紹介してきた行田の古代の歴史は、記録保存などでの発掘調査を積み重ねて分かってきたことな



発掘開始時



発掘終了時

調査で遺跡の上に積もった土を取り除いた所です。黄色い土と黒い土が見えますが、黒い土の部分は古代の水路が埋まった跡です。この黒い土の部分を、黄色い土が出るまでさらに掘り下げていきます。何本かの水路が交差していますが、新旧を見分けて、年代の新しい水路から順に掘っていきます。水路の中から発見された遺物は、その位置と高さを記録し、水路が使われていたときに入った遺物か、後で水路が埋まったときに流れ込んだ遺物かを判定して、水路の使われていた時代を明確にしていきます。そして掘り上がったのが左下の写真です。

これまでの紹介してきた行田の古代の歴史は、記録保存などでの発掘調査を積み重ねて分かってきたことな

こぜにが with フラベえ ちゃん行く!

たび はくぶつ かん 足袋とくらしの博物館

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんが分かりやすく紹介します。



「足袋蔵のまちぎょうだ」を代表する建物「足袋とくらしの博物館」。大正11年(1922)に建てられた足袋工場をそのまま利用し、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークの皆さんによって平成17年に開館したんだ。

昔の様子を再現した館内では、足袋づくりの実演や自分だけのオリジナル足袋を作る「My足袋づくり」が体験でき、さらには、行田の足袋や足袋関連産業の歴史も紹介しているよ。足袋の歴史と文化が詰まった博物館に、ぜひ遊びに来てくださいね。※開館は土・日曜日午の午前10時から午後3時で、My足袋づくり体験は予約制となっています。問い合わせの上、お越しください。

**今月の表紙** 6月1日、忍城址東門で第4期忍城おもてなし甲冑隊がお披露目されました。新メンバーに足軽「あお」が加わり、久々に勢ぞろいしたこの日。会場に詰め掛けた大勢の観客やファンの前で、力強い演舞やユーモア溢れるトークを披露しました。さらに「行田の魅力を一人でも多くの方に発信していきたい」と力強く宣言した甲冑隊。今後の活躍に期待が高まったイベントとなりました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をCD-Rに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。

